

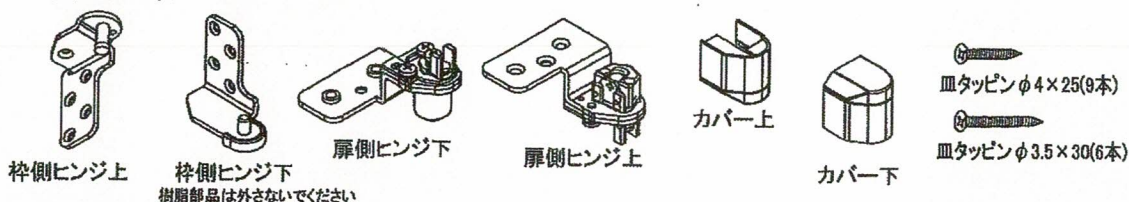
使用扉条件

- ・扉厚 : 33~40mm
- ・扉重量 : 40kg以下
- ・扉高さ巾 : 2400mm以下
- ・巾 : 850mm以下

取扱注意事項

- ・本取扱説明書は、必ずヒンジ取付前にお読みください。
- ・本製品内容を確認してください。(下図参照)
- ・本製品は床面で扉荷重を受ける為、下用ヒンジが取付部分の床面は硬く変形しない平らな面であることを確認してください。
- ・調整の際は、必ず手回しドライバーを使用してください。
- ・電動ドライバー等を使用すると破損の恐れがあります。
- ・吊り込みを行う際、扉を落としたり扉側ヒンジ下に強い衝撃を与えないでください破損する恐れがあります。
- ・ドアクローザー等、開閉に影響を与える金具の使用は控えて下さい。

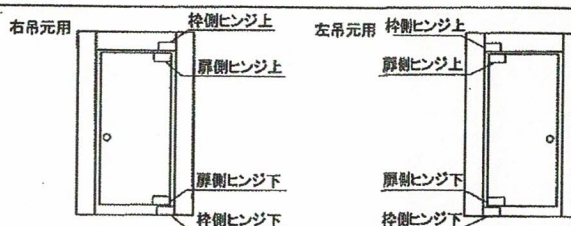
製品内容 本図は右吊元用です



吊り込みの設定

本製品は右吊元用・左吊元用があります。
左図のヒンジの位置を参考に取付位置を確認して下さい。

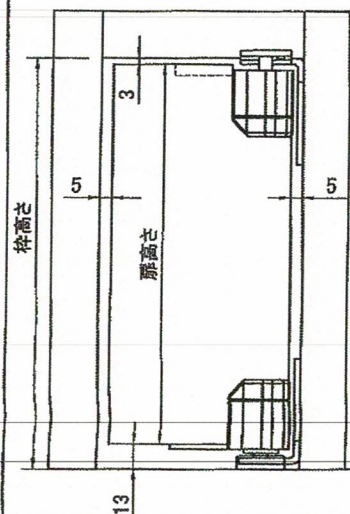
以下の説明は右吊元用を例にしています。
左吊元用の場合は左右対称で取付して下さい。



取付方法

1. 枠と扉の隙間寸法の設定

枠と扉の隙間寸法設定は
下図設定のとおりとしてください。
本図は右吊元用となります
左吊元用は左右対称となります



面付け仕様の場合は吊り元テリが5mm
掘り込み仕様の場合は吊り元テリが2mmに
なるように取付けてください

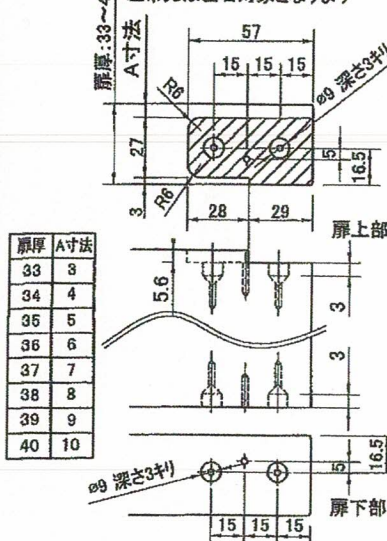
扉高さの設定は枠内寸法+16mmに
設定して下さい

※ 扉の建て付けに異常を感じた場合は
裏面の調整方法を参照して下さい

2. 扉加工、扉側ヒンジの取付

下図のとおり扉の上下を加工
してください。

本図は右吊元用で説明しています
左吊元は左右対称となります



- ① 斜線部を5.6mm掘り込みして下さい。
- ② 角R6は工具Rにて加工して下さい
- ③ バーリング部掘り込みは電動ドリルで加工して下さい

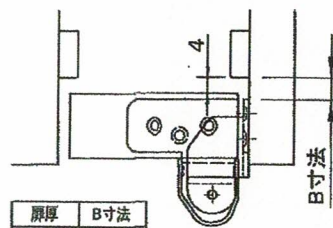
注意
扉側ヒンジをあてがい
必ず右図位置に下穴を
あけてください。
(下穴はφ2.0~2.5mmで
深さ20~25mm程度と
してください)
下穴をあけた後、ねじ
を締めてください

皿タッピンφ3.5×30(3本)

3. 枠側ヒンジの取付

下図の位置に枠側ヒンジを
取付けてください
本図は右吊元で説明しています
左吊元は左右対称となります

戸当たりから扉の後端面までの
距離が4mmになるように設定して下さい
戸当たりと枠側ヒンジとの距離の設定は
B寸法表を確認して下さい

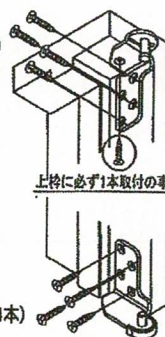


扉厚	B寸法
33	7
34	8
35	9
36	10
37	11
38	12
39	13
40	14

皿タッピンφ4×25(5本)

注意
枠側ヒンジをあてがい
必ず右図位置に下穴を
あけてください。
(下穴はφ2.5~3.0mmで
深さ15~20mm程度と
してください)
下穴をあけた後、ねじ
を締めてください

皿タッピンφ4×25(4本)



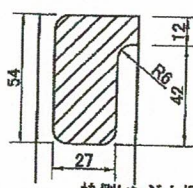
お願い:本説明書はお施様にお渡しください。

掘り込みが必要な場合の設定 吊り元側のチリを4mm以下にしたい場合

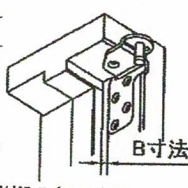
枠側ヒンジの掘り込みが必要な場合は、左図寸法を参照に深さ3mm掘り込み加工を行って下さい。
戸当たりまでの距離設定はB寸法表を参照して下さい。

※現物の寸法形状に合わせて掘り込んで下さい。

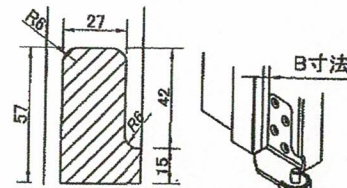
厚さ	B寸法
33	7
34	8
35	9
36	10
37	11
38	12
39	13
40	14



枠側ヒンジ上掘り込み加工寸法



枠側ヒンジ下掘り込み加工寸法



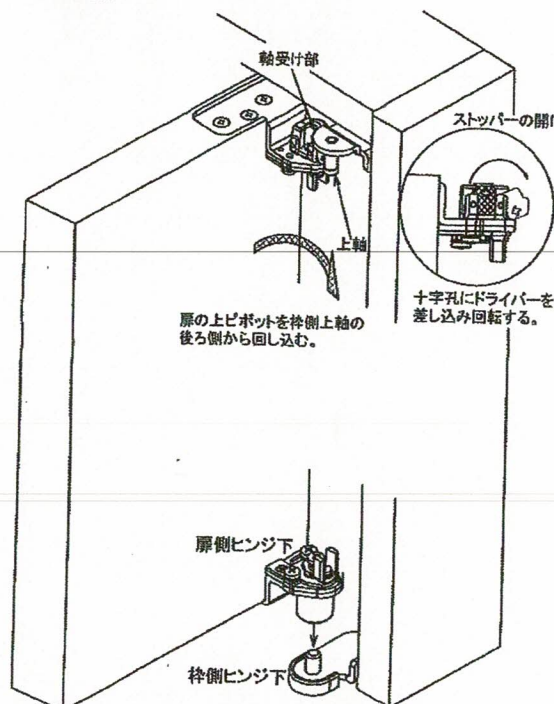
B寸法

吊り込み方法

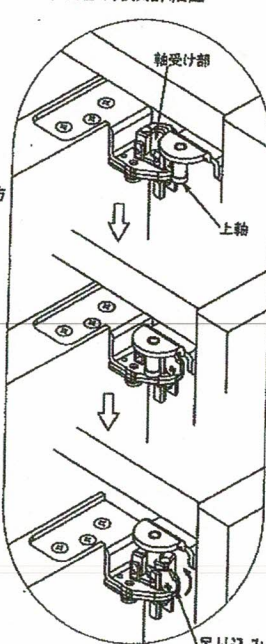
1. 上下の樹脂カバーを外し扉側ヒンジ上のストッパーの十字孔にドライバーを差し込み回転させてストッパーを開いて下さい

2. 扉側ヒンジ下を枠側ヒンジ下の芯棒にゆくり差し込んでください。

3. 扉側ヒンジ上のストッパーを開け、ヒンジの軸受け部を、枠側ヒンジの上軸の後ろ側から回し込んで、上軸に引っ掛けてください。(右図参照)

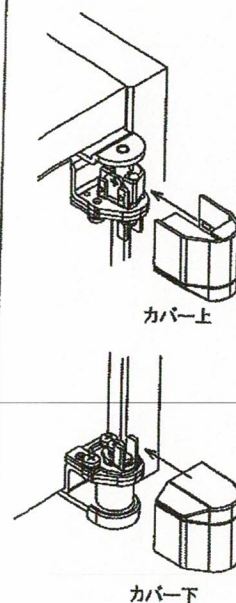


扉側ヒンジ上
吊り込み方法詳細図



※カバーがはまらない場合はストッパーが最後まで閉じていない場合があります

4. カバーの取付



カバーは前方からスライドさせながら奥までしっかりはめ込んでください。

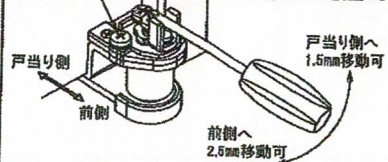
調整方法 (右吊り元用)

扉の建て付けに異常を感じた場合は下記、調整方法にて扉の調整を行ってください
調整の際は、必ず手回しドライバーで行ってください。(電動工具使用不可)
前後、左右調整用の固定ねじは2回転以上は緩めないでください。
下部ピボットで説明しています。上部ピボットも前後、左右調整は同様に行います。

前後調整の仕方

1. シルバーの固定ねじを1回転緩めてください。

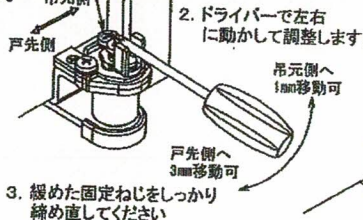
2. ドライバーで左右に動かして調整します。



左右調整の仕方

1. ブラックの固定ねじを1回転緩めてください。

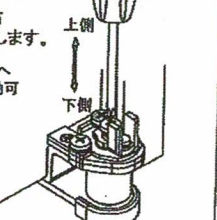
2. ドライバーで左右に動かして調整します。



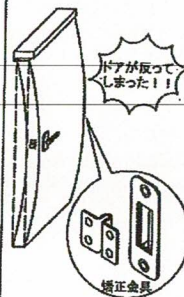
上下調整の仕方

上側へ2.5mm移動可 (2.5mm movement possible up)

下側へ2.5mm移動可 (2.5mm movement possible down)



オプション部品
矯正金具(別売り)



ドアの反りでラッチが掛からない場合は吊り元側中間部に矯正金具を取付けて下さい
詳しくは販売店にお問合せ下さい

※ 製品改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。